

平成23年度 大阪協会クリーンアップ活動報告

平成23年4月24日(日)、大阪協会第3回クリーンアップ活動が、今年も淀川左岸河川敷にて行われました。この取り組みは、日頃お世話になっている釣り場を、私たち釣り人自身の手できれいにし、守っていこう、というコンセプトの元に毎年行っており、今年で3回目になります。

当日は少し風があるものの、快晴の上天気に恵まれ、会員のお子さん8名を含む、33クラブ123名もの参加者が集まりました。第1回は参加者65名、第2回は97名、今年はさらに123名と、年々参加者が増加しており、このことは、会員の方々にボランティア活動の大切さが浸透してきている成果と言えます。来年以降もっと多くの参加者が集い、場所も淀川河川敷に限らず、様々な釣り場等でクリーンアップ活動を繰り返し広げていければ、と思っています。

会員さんのお子さんに、ゴミ袋を配布する池田大阪協会長と山崎環境部長。



クリーンアップ活動に入る前に、池田協会長からご挨拶。



「私も頑張って、お掃除しま〜す。」



123名もの仲間が集まりました。



めいめいが思い思いの場所で、ゴミを回収していきます。



川原の石畳と草原の段差の部分に、流れ着いたゴミがたくさんありました。



黙々とゴミの回収をする、会員の皆さん。



これだけのゴミが回収されました。
左側がペットボトルとビン、カンの類、真ん中が一般ゴミ。流れ着いたプラスチックやビニールのゴミが多かったです。右は粗大ゴミの類。



回収作業終了後に、集合された皆さん。



回収作業終了して、充実した顔がたくさん並びました。



労をねぎらって、事務局の方からお茶、ジュースやお菓子の差し入れがありました。



池田協会長自らが募金箱を手にして、東日本大震災の募金活動が行われました。



「私たちは釣りを楽しみ、自然を愛し、美しい海を次世代に残す宣言をします」大阪協会の横断幕です



最後は、参加した皆さんで集合写真の撮影。皆さんどうもお疲れ様でした。



最後になりましたが、今回のクリーンアップ活動のために、ゴミ袋を提供、またゴミ収集、処分の作業をしてくださった、国土交通省・近畿地方整備局、淀川河川事務所福島出張所様、および、株式会社シマノ様、グローブライド株式会社様、このたびはご協力、ご協賛いただき、ありがとうございました。

また、近隣町会の島屋連合様には、いろいろとご教授いただきました。この場をお借りしまして、改めてお礼申し上げます。

文章責任者 全日本サーフキャスティング連盟 大阪協会